

地域の将来像:住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより 2024.11.15 第77号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

「ドラマロケ地/えさし藤原の郷」を散策



今年度3回目の開催となる「にこここサロン」は、外出の場の提供という事で、ドラマのロケ地として多く利用されている奥州市「えさし藤原の郷」へ出かけました。当日は秋を忘れさせてしまうほどの晴天に恵まれ、夏を思わせるような暑さでした。園内は周遊バスを利用し



ての散策を含め、ガイドによる案内、自由見学の三つのコースから選んでの散策としました。その日は偶然にも、今放送されているNHK大河ドラマ「光る君へ」のロケ日で、ロケの様子も見学できました。中には、紫式部役の吉高由里子さんを見かけたという人も数人いました。残念ながら事務局員の二人はエキストラの行列と二頭の馬を見かけただけでした。



暑さもへっちゃら、かけっこ教室 part3



「まほろばの郷かけっこ教室」第6回・第7回を9月7日と14日に開催し、引き続きセントラルフィットネスクラブ24盛岡の尾芝コーチより長距離走をご指導いただきました。実際に公道を走ってみたり、最終日となる14日には、校内マラソン大会で学年別に実際に走る距離を走りました。1年生や進級して初めての距離を走る子ども達もいて、ペース配分が分からず疲れ気味の児童も見受けられましたが、全員それぞれの距離を最後まで走り切りました。また、閉会式では、短距離走でタイムが縮まった上位3名と、短距離走5回、長距離走2回、合計7回の教室に休まず参加した皆勤賞の4名をそれぞれ表彰しました。来年も是非参加してください。今年で卒業となる児童もおりますが、中学校に行っても、コーチに言われたことを忘れず、走り続けてください。応援しています。



◎第7回・小山田振興センターほか(9月14日)



◎第6回 (9月7日)
旧小山田小学校グラウンドほか

快晴の秋空の下で、和気あいあいと



10月20日、前日の雨を忘れさせるような快晴の秋空の下で、今年度2回目のグラウンドゴルフ大会を旧小山田小学校グラウンドを会場として開催しました。当初は19日の開催を予定していましたが、競技中に雨が降るとの天気予報でしたので翌日に順延しての開催となりました。一部のコースが前日の雨により湿った状態でしたが、残りのコースは競技に適した最高のコンディションでした。爽やかな秋風とは言えない寒風

を感じながら、参加者は思う存分クラブを振りプレーを楽しんでいました。今回の大会ではホールインワンが7人と今までにない数となり、準備していた賞品が足りなく後日お届けしました。グラウンド内では、時おり歓声上がるなど、チーム内はもとより、参加者同士和気あいあいと会話も盛り上がっていました。



グラウンドゴルフ大会成績表

優勝	菅原 秋代	(前 田)
準優勝	田辺 静江	(駒 形)
第三位	小田嶋 敏夫	(前 田)
第四位	浅沼 正昭	(南川目)
第五位	鎌田 副	(前 田)

ホールインワン賞

菅原 秋代	(前 田)
田辺 静江	(駒 形)
小田嶋 敏夫	(前 田)
菊池 忍	(石鳩岡)
一ノ倉 勝則	(石鳩岡)
田辺 信夫	(駒 形)
畠山 早智子	(外谷地)

オリジナルのティッシュボックスづくり

10月22日、南成島の佐野静子さんをお招きし、フラワー講座「オリジナルのティッシュボックス」づくりの講座を開催しました。透明なプラスチックボックスに様々な形、色のシールやテープと花を飾り付け、自分だけの可愛いボックスに仕上げていきました。最初はどんな配置・配色にしようか悩み、なかなか作業に取りかかりませんでしたが、決まってしまうと作業ペースが早まり、



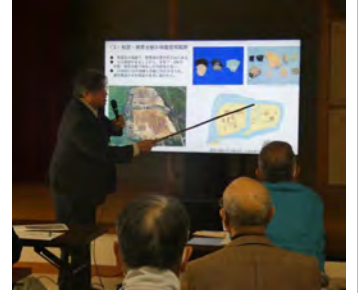
次から次へとアイデアが浮かぶのか飾りも多彩になっていきました。2時間の講座でしたが、参加した皆さんは時間内に仕上げ、完成した作品を目の前にし大満足でした。「もったいないので飾っておきます。」という人がいましたが、日常的に使ってください。



稗貫・和賀の中世城館を探る



10月29日、花巻市総合文化財センターの室野秀文文化財専門官をお招きし、歴史講座「稗貫・和賀の中世城館」を開催しました。当日は地区内外から14名が受講し、小山田館や古館・小山田西館、そして城下集落とされる「宿」など小山田地域の中世の頃についてのお話をいただきました。また、永享7～8年の和賀・稗貫の合戦や戦国時代にまつわる話など、小山田の地に住む私たちには大変興味深い内容でした。室野さんは最後に、「城館は軍事施設としての役割だけではなく、農業や商業の活動にも深くかかわり、地域社会の要だった」と話し、講座を締めくくりました。戦国時代と言われる中世の時代は、領土を拡大する一方、領土を守らなければならない時代、さらにそこに暮らす民を守らなければならない時代です。今の時代を生きる私たちもやはり同じように、農地や山林などの土地を守り、地域の生活を守って行かなければなりませんね。改めて考えさせられた講座でした。



【除雪作業にお困りの高齢者等に耳よりの情報】



10月20日、岩手山の初冠雪が発表され、今年もいよいよ雪の季節到来となりました。花巻市の軽度生活援助事業登録者以外で、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯で、別居の家族、親族等からの除雪の支援を受けることの出来ない世帯を対象に、自力での除雪作業が困難な方々を支援します。除雪作業でお困りの方は、各行政区長・民生児童委員又は事務局へご連絡ください。なお、除雪機運搬費と燃料費は当会より助成します。



【除雪の範囲】 自宅から公道までの日常生活に支障のある必要最低限の範囲

※屋根からの落雪の除去、屋根の雪下ろしは支援の対象外です

【除雪支援期間】 12月1日から翌年3月31日まで

※但し、土日・祝日及び12月29日から翌年1月3日までは除きまます

【除雪作業料】 1,400円/時間（作業員日当）



【珍現象】前田の小田嶋敏夫さん宅の畑で「サトイモの花が咲いた」との連絡をご近所の方からいただきました。早速、写真を撮りに行きたいとの連絡をしましたが、既に遅し、花は摘み取ってしまいましたとの返事にガッカリ(T-T)。幸いにも奥様の八重さんがスマホで写真を撮ってくれていたのでお借りしました。インターネットで調べてみると、サトイモの花が咲くのは大変珍しいことで、十数年に一度咲くか咲かないかなそうです。梅雨の時季の多雨と多湿、そして夏の時季の猛暑による高温などの条件が重なった時に開花するのではないかと考えられるそうです。近年の異常現象の影響もそのひとつの要因なのでしょうね。



地域の人口減少の対応に皆さんの声を!

全国的な人口減少により、地方の集落や自治体の消滅の動きはすでに始まっています。また、若者の流出が続き、高齢者が5割を超える「限界集落」は全国に数多くあり、各都道府県や各自治体では人口減少に対し様々な取り組みを行っています。人口減少は地域に大きな影響を及ぼしており、各種店舗の閉店による生活サービスの縮小、公共交通機関の縮小や撤退、空き家の増加、地域コミュニティの機能低下などその数は数え切れません。

当会では昨年度地域づくり交付金事業のひとつとして「少子高齢化対策事業」に取り組みました。今年度は事業の名称を「人口減少対応事業」と改め、更に当地区の人口減少に対して、地域として「何が足りないのか」、「何をすればいいのか」、「出来ることは何なのか」など皆さんと一緒に考えていきたいと思い、下記により講演会を開催します。皆さんの多数のご参加をお待ちしております。



- 開催日時
令和6年11月30日(土) 14時00分から(2時間程度)
- 開催場所
小山田振興センター ホール
- 内 容
【「移住者受け入れ」について考える研修会】
 - ・ 講演：「移住・定住支援」の取り組みについて
一般社団法人 東和作戦会議 理事 菅野 和 さん
" 大石 文子さん
 - ・ 移住者①：東和町上浮田 佐々木 哲哉 さん (H26年に移住)
「(仮題) 東和町に移住しました」
 - ・ 移住者②：東和町百ノ沢 阿部 弘 さん (R5年に移住)
「(仮題) 小山田近郊に移住しました」

令和6年10月末現在

(): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	53 (2)	77 (2)	64 (2)	141 (4)
第2行政区	147 (1)	187 (-1)	185 (1)	372 (0)
第3行政区	151 (0)	190 (-1)	218 (0)	408 (-1)
第4行政区	111 (0)	162 (-2)	155 (0)	317 (-2)
計	462 (3)	616 (-2)	622 (3)	1,238 (1)



冬の使者・白鳥の飛来
(外谷地/2024.10.28撮影)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています

～私のひとり言～ コミュニティだより第74号で人口減少についてお話しましたが、国内では人口が減少しているほかにも、里地里山で身近にたくさんいると考えられていたスズメが年3.6%、日本固有種のセグロセキレイが年8.6%という「絶滅危惧種」相当のペースで急激に減少していると10月1日に環境庁と日本自然保護協会から発表されました。地球温暖化で生存に適した気温ではなくなったことや、管理されなくなった里山が増えて生息環境が変わってしまったことが背景にあるそうですよ。自然現象は変える事が出来ませんが里山の管理は自分たちで出来ますよね。鳥の鳴き声が聞こえる里に!! (菊池)

発行：明日の小山田を考える会・電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

